

「ビーサン跳ばし」競技大会



【上社学区】

■世帯数：3,984 世帯

■人 □：8,962 人

■面 積：1.559 k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・ 上社公園を会場に、「名東の日（5月 10 日）：上社まつり」において、『ビーサン跳ばし』競技大会を開催、参加者数は約 600 人。
- ・ 世界的競技で「ギネスに挑戦」の看板を掲げられる個人競技を探し、かつ日本では知名度が低く、名古屋市内では実施されたことのない競技として「ビーサン跳ばし」を選択した。
- ・ 小さな子どもから高齢者まで、用意されたビーチサンダルを跳ばし、その飛距離を競って、部門毎に上位入賞者を表彰する。

【住民への PR 方法】

チラシの回覧

【アピールポイント】

当初の思惑よりも子どもも大人も皆のめり込み、記録にチャレンジして盛り上がるため、地域一体化にはもってこいのイベント。

2 きっかけ、背景

住民の絆が希薄化している現状を打破するイベントを「名東の日」に実施するために、住民のみなさんが楽しく一体化できるイベントを学区連絡協議会で協議した。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、民生委員児童委員、保健委員、消防団員、女性団体・女性会、スポーツ推進委員
計約 60 人

(2) 運営協力

上社学区連絡協議会メンバーが組織毎に運営を分担。運営推進役の後継者がいないのが今のところの悩み。

4 実施のスケジュール

H21 年
2月 提案・企画書の作成



3月 実施企画書、運営マニュアルの作成



4月 ローカルルールの作成 ビーサンの調達



5月 ギネスに挑戦「第1回ビーサン跳ばし」競技大会の開催



H22 年
5月 第2回競技大会の開催

▼ (H23 は中止)

H24 年
5月 第3回競技大会の開催

5 成果と課題

(1) 成果・効果

- ・「ビーサン跳ばし」の際に「ぜんざい」をふるまうことが上社学区の名物行事として住民に定着し、次回はいつかと期待されるようになった。
- ・参加者、特に親子での参加が増え、交流が深まった。

(2) 苦労した点

- ・主役の「ビーチサンダル」の入手が5月になってしまう。
- ・平成 23 年度は震災の影響で 11 月へ延期したが、11 月も雨天中止となったため参加者が失望した。

(3) 今後の課題・展望

- ・学区全体の総力をあげてのイベントであり、中心人物となる推進役を確保することが今後の課題である。
- ・「継続は力なり」と考え、活動を継続していきたい。

(4) メッセージ・アドバイス

- ・参加者が予想以上に盛り上がり、継続するイベントになる。

